

平成29年度能勢町各会計決算を認定

環境教育常任委員会報告

委員長 長尾 義信

9月14日、18日に本委員会に付託されました「平成29年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定について」のうち、環境創造部・教育委員会の決算内容を審議した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。主な質疑応答は次のとおりです。

問 効率的な行財政運営に努められたいとする監査意見書を受け、次年度へどう反映させるか。

答 「最小の経費で最大の効果を」の観点から、今後も住民に直結する施策、新たな政策にもスピード感を持ち取り組みたい。

問 観光部門におけるスタンプラリーのポイント場所の選定の根拠は。

答 第1の目的は、町内周遊であり、能勢の物産や商品券を抽選で配布するなどリピーターとさせていただけるよう考慮し、ポイントを設定した。

問 能勢栗の今後の取り組みは。

答 世界遺産への取り組みや吹田市と連携したフォーラムなどの取り組みをした。銀寄は高く評価される能勢の名産であり、継続して能勢栗振興に努める。

問 原材料支給の状況や協働の取り組みを含む町道維持管理のあり方に関し、人力でできない場合の重機を活用する取り組みに対して補助を検討してはどうか。

答 町道は、道路法上の公道であり、重機の使用等危険を伴う作業は、道路管理者が行うべきと考える。また、軽微な作業といえず法に抵触する懸念もある。

問 学校施設整備事業で獣害防止フェンス設置後の状況は。

答 学びの丘外周に設置したが、シカ等が柵の下から侵入した形跡や台風、大雨の影響で損傷した箇所を補修するなど対応している。

問 生涯学習講座の参加者数の増加の要因は。

答 早めの周知、PRが功を奏した。
参加者は、基本的に町内住民を対象としつつ広く参加が可能で講師の指導上弊害がない講座には町外の方にも参加いただいている。

問 スクールバスの運行及びラウンドアバウト交差点の通行指導等通学対策は。

答 バスの運行に関しては、保護者も含めた協議会の中で出た意見を尊重し、検討している。
ラウンドアバウト交差点は事故もなく、児童も慣れてきた。引き続き安全指導をする。

問 ぶらり探検など地域教育協議会の取り組みの現状と課題は。

答 学校は一つになったが、地域性も尊重しつつ実施している点や就学前の児童の参加を認めるなど地元地域とのつながりを重視し、今までの良い面を継承した活動を展開したい。

ささゆり学園
学びの丘



続いて、農業集落排水事業特別会計、下水道事業特別会計、水道事業会計について審議した結果賛成多数で認定すべきものと決定しました。